

# 病院の実力「乳がん」

医療機関別2021年

治療実績(読売新聞調べ)

医療機関名	手術 (件)	うち全摘 (件)	再建手術		妊娠の機能を残す治療の実施状況(22年4月時点)
			自家組織 (件)	人工乳房 (件)	
<b>埼玉</b>					
埼玉医大国際医療セ	497	335	16	53	
JCHO埼玉メディカルセ	311	111	25	73	
独協医大埼玉医療セ	196	122	0	1	○
埼玉医大総合医療セ	168	115	5	24	○
上尾中央総合	145	56	2	4	
春日部市立医療セ	137	61	0	3	
赤心堂	110	50	0	2	
埼玉石心会	109	83	0	6	
越谷市立	100	54	0	0	
川口市立医療セ	91	51	1	3	
防衛医大	86	65	2	1	
深谷赤十字	83	39	0	0	
TMGあさか医療セ	83	69	1	2	
戸田中央総合	55	39	0	1	
済生会川口総合	53	31	0	0	
埼玉協同	51	22	0	0	
新座志木中央総合	22	8	0	0	
<b>群馬</b>					
県立がんセ	372	212	19	18	
国・高崎総合医療セ	280	129	0	7	
群馬大	266	179	16	9	○
伊勢崎市民	117	75	0	6	
桐生厚生総合	61	29	0	0	
公立富岡総合	54	12	0	0	
公立藤岡総合	37	26	0	0	
<b>千葉</b>					
亀田総合	507	228	0	56	○
国立がん研究セ東	449	238	27	12	
県がんセ	384	243	33	3	
三和	354	164	3	78	
船橋市立医療セ	287	147	0	34	
千葉大	276	181	35	1	○
順天堂大浦安	186	115	3	5	○
国保旭中央	179	83	0	4	
聖隷佐倉市民	147	76	1	14	
国際医療福祉大成田	136	62	0	0	
東京歯科大市川総合	134	49	2	0	○
日本医大千葉北総	106	58	2	1	
国・千葉医療セ	103	51	0	0	
東邦大佐倉	80	30	10	0	○
国保君津中央	67	51	0	0	
慈恵医大柏	65	33	0	3	
新東京	48	19	0	0	
千葉市立海浜	44	10	1	1	
おおたかの森	33	25	0	0	
さんむ医療セ	8	8	0	0	
キッコーマン総合	2	2	0	0	

「国・」は国立病院機構、「JCHO」は地域医療機能推進機構、「セ」はセンター

## 乳がん

今回は、女性がかかるがんの中で最も多い乳がんを取り上げ

る。一覧表には、各手術実績のほか、妊娠の機能を残す治療の実施状況を掲載した。手術は、乳房をすべて切除する全摘手術と、がんとその周囲のみ摘出し、残した乳房に放射線を照射する温存療法がある。失った乳房は、手術で再建でき、患者のおなかや背中

筋肉や脂肪など「自家組織」か、シリコーン製の人工乳房を使う。形成外科医からそれぞれの特徴をよく聞き、どちらの方法を選ぶか、いつ受けるかを決めることが重要だ。がんのタイプや進行度によ

っては、再発予防などの目的で薬物療法を行う。抗がん剤は、卵巣にダメージを与え、治療後も月経が戻らないケースもある。そこで、将来、子どもを望む患者を対象に、妊娠の機能「妊孕性」を残す治療が普及しつつある。薬を使う前に、卵子や卵巣組織を採取して凍結保存する。

がん治療を受ける医療機関で対応していない場合、不妊治療クリニックなどを紹介してもらえるかどうか、早めに主治医に相談しよう。乳がんは早期発見すれば、治療の可能性が高い。普段から、乳房の形やしこりの有無を確かめ、気になる症状があれば乳腺外科を受診、40歳になったら2年に1回の検診を続けたい。

全国の調査結果は20日の「安心的设计面」に掲載しました。

# 早期発見へ自分でも検診

## 病院の実力 ～埼玉編 170